

# なかつか 亮



2017年9月10日(日)

NO518

区議控室 Tel. 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel. 3773-3231



田んぼに囲まれた成田空港から6km地点を調査(羽田空港では大井町駅に相当)

2年半後となる2020年導入をめざし強引に検討を進めている羽田新ルート問題。羽田空港の国際線を増やすために現在の海上ルートから品川区上空(大井町駅で高度300m)を通過させる新ルートについて、住環境への影響を調査するため成田空港の周辺調査を9月4日(月)に実施しました。

成田空港では飛行時間が朝6時から夜11時までとする確認書を39年前に国と自治体

で結びましたが、国土交通省はこれを無視し航空機の需要増加を理由に、朝5時から夜1時へと夜中3時間の利用枠拡大が示され、住民より「着陸機が飛ばない時間が深夜4時間のみとは住民の睡眠をどう考えているのか」と怒りの声が大きく広がっていました。

ルート近くの住民は「親子3世代で暮らしてきたが、娘たちが子どもの環境を考えると騒音のひどい地域から引越したいと(裏)」



## 成田空港周辺を現地調査

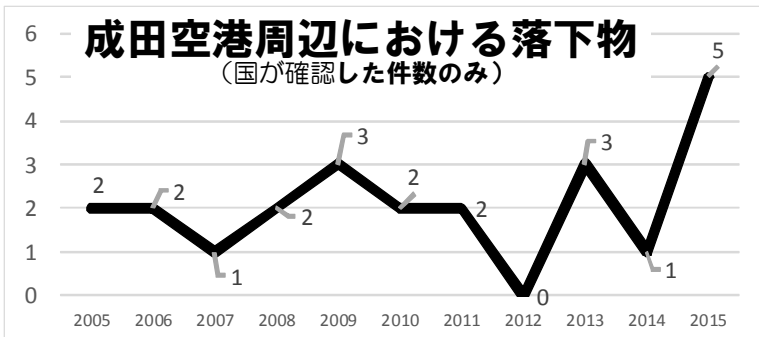
### 品川低空飛行は撤回を

「ひどい騒音に子ども達が引越しを考えている」



(二面からの続き)「話している。そこに深夜の時間延長とは許せない。すでに私の集落では110軒が40軒に人口が減った。家族も集落もバラバラにする計画だ」と話します。

当日は成田空港から6Km地点で騒音調査。



「大井町駅上空を体感してほしい」と羽田空港における大井町駅付近と同様の高度300mを通過する地点で騒音測定をしました。

ここでの最大騒音は約75デシベル。国土交通省の説明では大井町で約80デシベルとあり成田空港周辺の差について地元の方は「ここは周りが森林と田んぼだから騒音を少しは吸収するのでは。ビルとアスファルトに囲まれた都心では騒音はここより大きくなると思う」と話します。

また「テレビの音が聞こえない。窓がバタバタする。貨物便が通るとさらにひどい」などの実態も伺いました。これを品川区内に置き換えると考えただけ

で恐ろしくなります。

しかも品川では午後3時から7時ですが、成田空港のような時間拡大が起きたら一体どうなるのでしょうか。

さらに深刻な問題が着陸機からの落下物です。国土交通省は対策強化を説明しますが、毎年のように発生しています。地元の方は「落下物が山に落ちることや氷塊が落ちても溶けてしまい未確認の件数もある。今年6月には民家の屋根に穴が開く事件が起きたが、落下物が氷塊と思われる実物を国土交通省の職員が確認できなかった。人口の多い都心では落下物による人命へのリスクはより高い」と話します。(右下へ)



現地調査後、住民の皆さんと懇談会

実態調査を通じて、人口が密集している市街地上空を、羽田空港の着陸機通過が、いかに危険であるのか、そして将来にどれだけの深刻な問題を招くのかを改めて実感することができました。同時に、こんなひどい計画に反対しない品川区長に怒りすら感じました。

成田空港の時間延長含め住民犠牲の飛行計画は許せません。そんなひどい政治を変えるため、引き続き頑張ります。なかつか亮

## 次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

9月15日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所  
 弁護士と一緒に相談会を行います。なお急ぎのご相談等は、お気軽にお電話下さい。  
 連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**